

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年5月30 日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	14220
政策名 (章)	第4章 人間性豊かな子どもを育成します	評価担当課	生涯学習部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 青少年の健全育成		青少年課
施策名	家庭・地域の教育力の充実と学校との連携強化	課長名	小林 清志

1 施策の概要・目的

青少年の健全育成を指導するため家庭、地域、学校と連携し社会環境の健全化及び啓発活動を行うと共に、各地区の健全育成組織等の活動を支援する。

2 施策の現状

完全学校週5日制が平成14年度から実施されたことに伴い、「地域・子どもふれあい事業」を実施した。学校の児童、生徒に対して健全育成に関する絵画、作文、標語を募集し啓発活動を行っている。(青少年課)
また、地域・家庭の教育力向上のため、公民館事業やPTA事業の中で平成15年度より家庭教育に関する講座を実施している。(生涯学習課)

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

1,053,785 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

1,711 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 34 番目です。

(4) 施策に要している人員

10.04 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	子ども等参加率 9403人÷13800人 H14事業参加者÷(50人×12回×23地区)	「地域・子どもふれあい事業」を毎月1回50人の子どもを対象に実施する。	現状 68.1 % 単位	0 50 100	22	目標年度
			目標 100 % 単位		68%	達成度
指標2	健全育成協議会活動率 平成14年519回(延べ) 平成15年604回(計画)	平成14年度の活動日数を100として評価する。	現状 86 % 単位	0 50 100	22	目標年度
			目標 100 % 単位		86%	達成度
指標3			現状 単位	0 50 100		目標年度
			目標 単位			達成度
						%

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

「みんなで育てよう 地域のこどもたち」を合言葉に、健やかで心豊かな青少年を育成するため、地域ぐるみで子育てなどの充実を図ることが必要である。

6 有効性…期待される効果があがっているか

青少年健全育成活動には即効性がないが、地域が一体となった活動が有効であり、その支援が重要である。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

平成14年度「地域・子どもふれあい事業」の実施結果は、20地区185事業、参加者は述べ9,403人で多くの青少年が参加し、地域の大人との交流を図ることができた。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

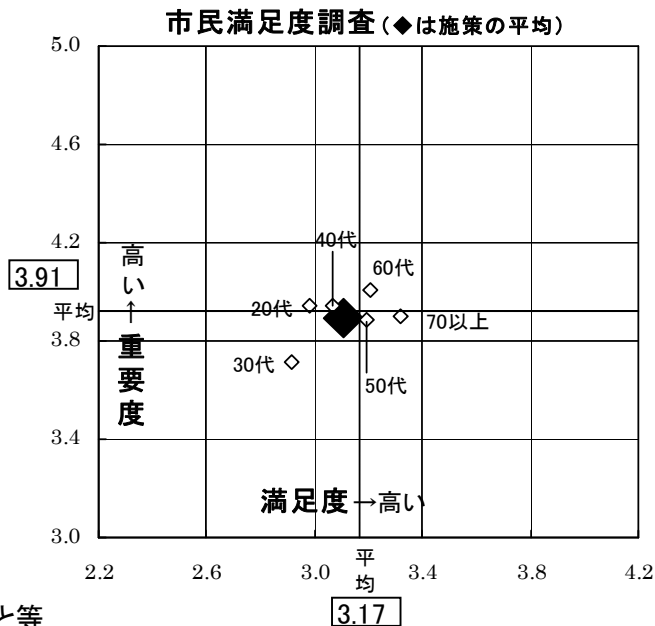
◆この施策の満足度は、3.107で、調査した51施策の中で36番目です。

◆この施策の重要度は、3.891で、調査した51施策の中で25番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.554で、調査した51施策の中で23番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30歳代で最も低くなっています。重要度は60歳代で最も高く、30歳代で最も低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

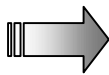


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

地域コミュニティの希薄化が指摘される中で、青少年達と大人達の交流を図る事業の推進を図り、地域を活性化させる必要がある。また、青少年の健全育成を推進するにあたり、親の価値観が多様化しているためより効果的な啓発活動を実施する必要がある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

次代を担う青少年を健全に育成することは、市民すべての願いであり市民全体の責務である。青少年施策を総合的、計画的に推進するため、青少年健全育成プランを策定します。
 青少年の健全化の達成はすぐに現れないため引き続き継続する必要がある。

11 2次評価

説明

<input checked="" type="checkbox"/> A	近年、家庭・地域における教育力の低下が進む中で、現在の社会状況に合った実効性のある施策内容としていくこと。また、家庭・地域・学校の連携強化に、側面からの支援を行うこと。
<input type="checkbox"/> B	
<input type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明

家庭・地域・学校の連携を強化するとともに社会情勢の変化に応じた施策のあり方について検討すべきである。

施策名 家庭・地域の教育力の充実と学校との連携強化

施策コード 14220

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要									今後の進め方	施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性			
青少年問題協議会経費	青少年課	14	1,554	0.15	AA	A	A	A	A	B	A	/	継続	法	
小学校施設開放事業	青少年課	14	6,313	0.05	C	C	B	B	C	B	B	/	完了	5	
青少年健全育成環境づくり事業	青少年課	15	14,018	0.50	AA	B	A	B	/	/	A	A	継続	1	
PTA育成費	生涯学習課	14	4,354	0.24	AA	B	A	A	C	A	A	/	継続	3	
家庭教育啓発費	生涯学習課	14	1,112	0.10	B	B	B	A	A	B	A	/	見直し	4	
児童クラブ整備費	子育て支援課	15	197,900	1.00	AA	B	A	B	/	/	A	B	継続	再掲	
こどもセンター建設事業	子育て支援課	14	380,001	2.00	AAA	A	A	A	B	B	A	/	継続	再掲	
こどもセンター運営費	子育て支援課	14	292,344	2.50	AAA	A	A	A	B	A	A	/	継続	再掲	
児童クラブ管理運営費	子育て支援課	15	125,000	2.50	AA	B	A	B	/	/	A	B	継続	再掲	
民間児童クラブ運営費補助金	子育て支援課	15	31,189	1.00	A	B	B	B	/	/	A	B	見直し	再掲	

合計 10 事務事業 1,053,785 10.04 千円 人 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性